

【取組内容】 Google チャット™ で校内情報伝達の迅速化

④校務DX（標準仕様とクラウドを活用し、教員の働き方改革につなげる取組）

Google チャットで、校務のDX化を推進

**DX前** 紙ベースや校務支援システム※では教職員間の情報共有や連絡の効率が悪かった。

※大阪市では、学習系と校務系の2つのネットワークを構築。児童の個人情報など機微な情報は校務系ネットワーク内の校務支援システムで管理。セキュリティ強化のため端末ログイン後、さらに認証が必要。

① アクセスに時間がかかる

→個人情報に関わらない連絡であっても、伝達・共有にタイムロス。

② 連絡内容によって相手を分けづらい

→宛先の限定がスピーディにできない。

教職員の反応



PCを起動してから、すぐに業務に取り掛かることができる!



スペース(グループ)で担当の先生たちに連絡ができるから、細かいことも相談しやすいです!



「ToDo リスト」で業務分担やタスク管理が可視化できるので便利です。

DX後



チャットの利用によるメリット

1 連絡の伝達が速い

PCを立ち上げればすぐに、連絡が可能。

2 宛先のグループを容易に作成

全校、担当学年、校務分掌、行事担当など、連絡内容ごとのスペース(グループ)作成が容易にできる。



3 グループごとにタスク管理(担当の振り分けも可能)

所属グループのタスクを共有して管理でき、担当者も割り振れる。

